

香川アスベスト被害者 守る会 総会と講演会

香川アスベスト被害者 会長に藤原高明、副会長を守る友の会は17日、高松市で総会を開き、運動方針を決定するとともに、任



21年度の活動方針では「被害者の掘り起こしと救済に振り組む」とも、「アスベスト問題が過去ではなく、今後ピークになることを多くの人に知らせる」「アスベスト対策に

【1面より続く】

現在の政権や野党共闘について「自公政権を許してはいけない」（長野氏）、「民主主義と立憲主義を取り戻す」（成合氏）、「一致団結する全

めました。

小川氏は「不断の努力もして受け皿になり政治を変えたい」と語り、渡辺氏は都議選の一人区での野党共闘に触れ「四国でも命と暮らしを守る議席を国会に」と話しま

島化学宅間工場の元従業員らによる国賠訴訟和解後も、新規患者、元従業員、家族への支援がいろいろな団体によって行われていることが報告され

合田事務局長は「かつて私も、旧エタニットパイプでの国賠訴訟を戦った経験で今後の被害者救済に役立てたい。自治体との懇談は重視してい

オンラインを使用し、中地重晴熊本学園大学教授がアスベスト被害について講演。特性やアスベスト被害の経過や運動について語るとともに、今

参加者からは子どもの貧困に携わる人や、自営業者、非正規労働者から実態や思いが語られ、「私のような立場を大切にしてくる政治を」（非正規労働の青年）と訴えました。

原水禁四国大会を開催

第67回原水爆禁止四国大会が11日、オソラインで開催されました。原水爆禁止日本協議会の川田忠明全国担当常任理事が「核兵器禁止条約を力にどう前進するか」と題して講演。四国4県が活動報告しました。

開催県を代表して香川原水協の岩部乃之筆頭代表理事は「核兵器禁止条約が発効された最初の年。批准国を増やしたい。今日の大会を世界大会につなげたい」とあいさつ。川田氏は、今年の水爆禁止世界大会につ

いて①核兵器禁止から廃絶への展望を示す大会、②核対決を阻止する大会、③日本の姿勢を変える大会などの意義を丁寧に説明。米大学が行った世論調査で、条約参加の日本国民の意思がはっきり示されたこと、参加を求める意見書が全自治体の三分の一を超えたことを紹介。「参加する



方針を掲げた政府を作ろう」と呼び掛けまし

YOU気 りんりん

白川よう子

四国ブロック国政対策委員長

「なぜこんな考えに至るのか！」訴えながら怒りが込み上げてきます。酒類を提供する飲食店に取引停止の圧力をかけた政府方針は、業者や国民の批判で撤回に追い込まれました。西村経済再生担当相は辞任すべきですが、菅首相こそ責任のがれは許されません。長期化するコロナの事態の中で飲食店は十分な補償がなく、店を続けられるかどうかの瀬戸際です。持続化給付金の第2弾の支給や抜本的な支援強化が必要なのに、それれもせず脅して従わせようとするところが菅政権の強権体質そのもの。感染を抑制できないのは菅政権が才

リンピック開催に固執しているからです。自粛を求める一方で、五輪は開催するという矛盾に国民は憤りを募らせています。五輪よりも命を！東京五輪は直ちに中止を決断し、感染抑制に全力を！

約2週間の「四国キャラバン」は今週愛媛県入り。高知県の幡多から愛媛県南予に入り、



媛県南予に入り、

スベストの除去の徹底が

大切な」と述べました。

民青が学生に食糧支援

日本民主青年同盟香川県委員会は14日、高松市で学生を対象にした食料支援に取り組みました。主催者は、大学周辺で

ピラを見て訪れた女子学生（20）は、「オンラインと対面授業が半分

トマトなど夏野菜やバナナ、ハクサイなどの生鮮品が並び、取り組み中も有志から野菜を提供され「助かります」と受け取って

高松市戦争遺品展（市主催）が13日から一週間、瓦町フラッグ、コンコースで取り组まれました。

高松空襲や戦時下のくらしの寄贈品46点と、写真などパネル24点が展示されています。空襲で被災した硬貨やハサミ、仏具や、天皇からの命令を海軍に伝達するときに使用した「大海令」などの遺品と、檀紙（だんし）村での戦死者の葬儀（村葬）の様子などの写真が並びます。特に村葬の写真は「当時カメラを持って

高松空襲や戦時下のくらしの寄贈品46点と、写真などパネル24点が展示されています。空襲で被災した硬貨やハサミ、仏具や、天皇からの命令を海軍に伝達するときに使用した「大海令」などの遺品と、檀紙（だんし）村での戦死者の葬儀（村葬）の様子などの写真が並びます。特に村葬の写真は「当時カメラを持って

「私のような立場を大切にしてくる政治を」（非正規労働の青年）と訴えました。

たという男性（77）は「これまでも何度も来ています。当時三歳で空襲を体験しました。紫雲（しうん）山が真っ赤だったり、サイレンや爆弾の音など、色と音の記憶が未だ強烈に覚えています」と話し展示に見入っていました。



活動報告では、「平和行進では被爆2世があいさつしてくれた。原爆慰霊祈念式は、今後は被爆者2世で開催できるようになれば」（香川）、「平和行進では議長がスタンディングに参加する自治体もあった」（徳島）、「核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書が松山市で採択さ

れた。引き続きほかの自治体もお願いしていく」（愛媛）、「ピキニデーの取り組みでは元マクド漁船員と遺族との交流などに取り組んだ。ピキニ事件にかかわる資料集を普及したい」（高知）など話しました。県内では丸亀や高松、三木などの複数個所で視聴会場が設けられました。

梶県議 政務活動費の在り方をただす



日本共産党の梶昭二香川県議は8日、県議会の一般質問で、国が進める高齢者の医療費負担2倍化や入院ベッド削減、東京五輪への姿勢、政務活動費の問題などについて浜田恵造知事の姿勢を問いました。政務活動費について梶氏は、市民オンブズ香川が2013年度の政務活動費の返還を求めた裁判で、「意見交

換会費」の名目などで支出された県議・人の活動費の約970万円を返還する判決が出て、県が控訴したことについて「控訴は公金の返還を先延ばしするだけだ。【4面に続く】